

戸塚駅西口第1地区第二種市街地再開発事業 共同ビル棟

No. 18-002-2010更新
新築
物販/飲食

発注者	東急不動産・東急コミュニティー 実施設計：西松建設株式会社一級建築士事務所 基本計画・監理：株式会社日本設計	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO ₂ 技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携 I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他
設計・監理			
施工	西松建設株式会社関東建築支店		

街並みに調和した環境にやさしい再開発商業ビル

■周辺環境との調和と配慮

本建物は、横浜市が施行者となる戸塚駅西口の再開発事業の一つとして建設された。愛称を「トツカーナ」と称し、地元権利者を中心に運営される商業施設「トツカーナモール」（111店舗）と、東急不動産の運営する商業施設「戸塚東急プラザ」（56店舗）により構成される。

建物中心部には、戸塚駅と交通広場を結ぶ歩行者通路として「中央プロムナード」があり、戸塚駅周辺の主要な交通動線としての役割も担う。

建物のコンセプトは、街並みとの調和を図り、宿場町の歴史性を現代的イメージで表現する千鳥や縦方向に分節した壁面デザインに表現され、外壁と内部デザインは、歴史性と新規性を表す「こげ茶」と「白」をテーマカラーとして構成した。

来街者や駅ホームから目に触れる壁面緑化を計画し、街並み形成と周辺環境に配慮した。

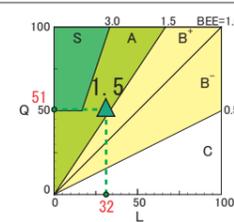


外観写真

建物データ	
所在地	神奈川県横浜市
竣工年	2010年
敷地面積	11,232m ²
延床面積	70,813m ²
構造	SRC造・一部S造
階数	地下2階、地上7階、塔屋2階

省エネルギー性能	
ERR (CASBEE準拠)	物販18% 飲食20%

CASBEE評価	
Aランク	
BEE=1.5	
2007年度版	
自己評価	



■自然光を利用したテント膜屋根による明るい吹抜け空間
駅とバスターミナルを繋ぐ施設の軸となる中央プロムナードには、屋根にテント膜を用いることで、自然光を利用し、照明による電力の削減に努めた。

よって、省エネルギーに貢献するだけでなく、明るく開放的な空間を創出し、また吹抜け空間を多く設けることで、商業施設としての立体的な賑わいと回遊性を表現した。



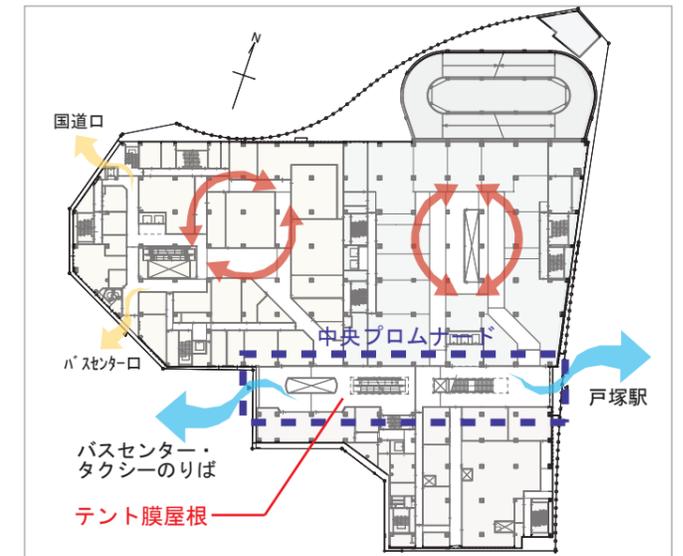
テント膜屋根による吹抜（中央プロムナード）

■街並みや周辺環境へ配慮した壁面緑化

緑化については、屋上緑化だけでなく来街者や駅ホームから目に触れる壁面緑化を計画し、地球温暖化防止に努めた。さらに街並み形成と周辺環境に配慮した配置計画とした。



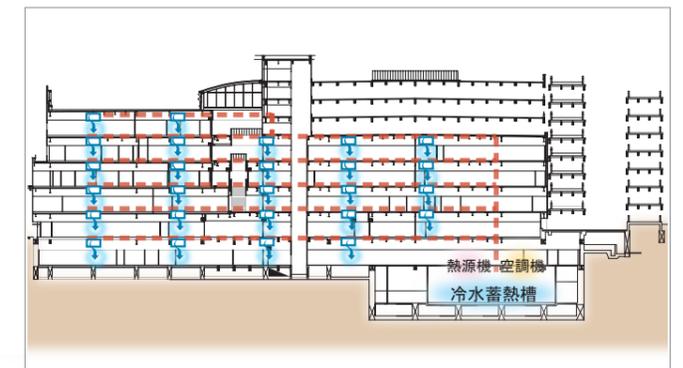
壁面緑化



平面プラン

■夜間電力を活用する冷水蓄熱式空調システム

空調には、冷水蓄熱式空調システムを採用した。地下躯体に冷水蓄熱槽を設け、夜間電力を利用し、蓄熱槽に熱エネルギーを蓄え、昼間は蓄熱槽に蓄えられた熱エネルギーを空調に使うシステムである。化石燃料の使用が少ない夜間電力の利用や蓄熱による電力使用量の大幅な削減が図られ、これらによりCO₂排出量の抑制、地球温暖化防止へ努める計画とした。



冷水蓄熱システムイメージ

■環境負荷の低い工業用水の利用

トイレなどの雑用水については環境負荷の低い工業用水を利用した。

■建物環境性能：CASBEE 横浜において「Aランク」

これらの様々な環境に配慮した点において建築物の環境性能を総合的に評価するCASBEE 横浜で評価「Aランク」を達成した。

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3.2 まちなみ・景観への配慮（元戸塚宿の歴史をイメージしたデザイン）
- Q3.3 地域性・アメニティへの配慮（駅からの接続しやすさ）
- LR1.1 建物の熱負荷抑制（外壁ルーバー、テナント膜、工業用水利用）
- LR1.3 設備システムの高効率化（センサー制御、冷水蓄熱システム）
- LR3.1 地球温暖化への配慮（昼光利用、壁面緑化、屋上緑化）